

サービス改善計画書

策定日： 令和6年3月15日

事業・サービス名： 放課後等デイサービス

施設・事業所名： あおぞら

自己評価項目	評価結果	問題点・課題	改善内容と目標	時期と期間	責任者	備考 (必要な予算等)
職員の配置数は適切であるか	△	個別支援が必要な児童が増えてきているため、職員の技能を高める必要がある。	支援方法を伝達し、だれにでも支援できるようにしていく必要がある。	令和6年度	児発管 職員	
この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○	年度末集計だと他の業務と重なるため、時期の見直しを図っていく必要がある。	評価時期を早め、年内実施に取り組んでいく。	令和6年度	児発管	
活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○	職員が不在の時に話し合う機会が持てない時もある。	毎日、必ず打ち合わせをする習慣作りを図っていく。	令和6年度	児発管 職員	
支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	△	業務後に職員が集まって振り返る時間を設けることができなかった。	報告する習慣を作っていく。	令和6年度	児発管 職員	
ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	△	雨の時期の活動が制限されるときも見受けられる。	外遊びや、創作・音楽、調理などを通して子どもの心身の発育を促していく。	令和6年度	児発管 職員	
就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	×	まだまだ放デイの位置づけができていないのか、なかなか情報を共有する機会が設けられない。	子どもの情報や特性を共有できるように、働きかけていく。	令和6年度	児発管	
事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	×	事業所ではなく法人の行事として場所の開放を図ってもいいと思う。	地域の方が安心できるように事業所の存在を伝えていく。	令和6年度	児発管 職員	

障害福祉サービス共通評価基準 概評

放課後等デイサービス

あおぞら

- ・ 職員の資質向上を図り支援を提供していく。
- ・ 保護者の意向を踏まえつつサービスを提供できるようにしていく。
- ・ 視覚支援など有効な方法について学習していく。
- ・ 職員が話し合い相談し、支援方法・内容を検討していくようにする。
- ・ 課題の共有に努め、チームで課題解決に取り組むようにする。
- ・ 外活動を通して地域交流を図っていく。
- ・ 発達支援センターや相談支援事業所、各放デイ事業所と連携を図り情報の共有に努める。